

令和5年度 学校評価 学校関係者評価書 (後期)

1 自己評価の方法について

A:よい B:おおむねよい C:課題がある

	観 点	評価資料等	評価
1	児童生徒や学校の実態、保護者や地域の意見・要望等を踏まえ、学校としての教育目標等が重点化され、適切に設定されているか。	経営ビジョン・自己評価書	A
2	自己評価が定期的に実施(計画)されているか。	自己評価についての説明	A
3	自己評価結果を、次の教育活動の改善に活用しているか。	自己評価書	A
4	自己評価項目は、全体的に見て漏れはないか。	自己評価書	A
5	自己評価が全校体制で行われているか。	自己評価についての説明	A
6	客観的な自己評価になっているか。	自己評価書	B
7	児童や保護者へのアンケートが実施(計画)され、自己評価を行う上で参考にしているか。	アンケート結果	A
8	アンケートを行った児童、保護者等の匿名性を確保するよう配慮しているか。	アンケートについての説明	A
9	学校評価(自己評価・学校関係者評価等)結果を広く保護者等に分かりやすく、適切な分量で伝えているか。	学校だより・ホームページ	A

2 学校教育活動・自己評価の内容について

本校の教育活動の成果(学校記述)	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導について、研究テーマ研修と関連付けて複式指導の授業改善とタブレット端末の活用を推進した。第2土曜日のパワーアップタイム等の取組も計画どおり進めることができ、鹿児島県学習定着度調査では、昨年度や県・市との比較で改善がみられた。 ○ G I G Aスクール構想に基づく取組として、毎週水曜日を「スマート水曜日」と名付けてタブレット端末の持ち帰りを進めた。デジタルドリルやロイロを活用した家庭学習に取り組ませることができた。 ○ 生徒指導について、定期的なアンケートの実施により児童のきめ細やかな実態把握ができています。さまざまな背景を抱える児童に寄り添いながら、今後も積極的な生徒指導に努めていく。 ○ 保健指導について、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザへの感染予防策を継続し、保健主任を中心に指導や啓発に努めることができた。 	
本校の教育活動の主な課題(学校記述)	課題に対する改善策(学校記述)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 確かな学力の定着 ○ 豊かな心の育成 ○ 健やかな体の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本校で作成した「学力向上アクションプラン」を確実に推進していく。 ・ 校内研究研修を柱として、授業力の向上を図りつつ、ICT機器の活用し、個に応じた指導を今後も進める。 ・ 積極的な生徒指導に心がけ、意図的な仲間づくりを進めるようにする。 ・ あいさつや清掃指導など、教児一体となり進める。 ・ 体力運動能力調査の結果を活用し、個に応じた体力づくりの推進が必要であり、朝の自主的な体力づくりが充実するように、体育部を中心に呼びかけを行う。
評 価 及 び 助 言 等 (学校関係者評価委員会記述)	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種学力調査等について、小規模校における平均値での学力把握、全国・県の数値との比較は難しい面もある。一人一人を大切に学習指導をしてほしい。 ○ 本城小の周辺は、車の通りも多いので、交通安全や不審者対策等安全指導を徹底してほしい。 ○ 地域との合同運動会の在り方について、児童数の減少や地域の実態を踏まえ、今年度新しい形で実施したが、学校が地域の活力となっているので来年度もぜひ取り組んでほしい。 ○ 学校と家庭、地域が一体となって連携を進め、子どもたちのために取り組んでほしい。 ○ 今後の児童数の推移について、特認校制度の周知や市営住宅の活用、市街地調整区域の変更といった行政側との連携はできないだろうか。 	